

2025年度 一般財団法人たんぽぽの家 事業計画

2025年はわたぼうしプロジェクトが50年、エイブル・アート・ムーブメントが30年を迎える。変化する社会状況に対応するために、これまでの活動を振り返り、これからの社会を豊かにしていくためのアートムーブメントのあり方やネットワークのつくりかたを探る。

エイブル・アート・プロジェクト

エイブル・アート・ムーブメント30年

1995年にスタートしたエイブル・アート・ムーブメントが今年で30年を迎える。市民による芸術運動として芸術文化・福祉・地域・企業・市民団体・教育機関など横断的なネットワークがうまれている。来年度は、ムーブメントを通して生まれて来た活動を振り返り、これからの社会とアートの新しい関係を探る年としたい。

・調査

全国各地で、芸術文化をとおしたプロジェクトや参加型の取り組みで障害のある人、ない人の交流をおこなっている社会的意義をあきらかにするための調査をする。また、これまでのエイブル・アート・ムーブメントのアーカイブをつくることをめざす。

・展覧会

調査に基づき、先進的な取り組みを紹介する展覧会を開催する。障害のある人の芸術文化をとおして、地域と連携し発展する福祉とアートのあり方を考えることをテーマとする。また、エイブルアート・ムーブメントの30年の活動実績とその意義も紹介する。

・フォーラム

エイブル・アートのこれまでとこれからについて関係者や関心のある人たちと議論する場をつくる。

・連携事業

上記以外にも、エイブル・アート・ムーブメントを通してこれからの社会とアートについて考えるキャンペーンを年間を通し実施する。

アートプロジェクト企画運営

1) 知的財産権活用プロジェクト

表現を社会に発信するときに必要な考え方や、表現を守りつつ広めていく方法としての知的財産権を、楽しみながら学ぶプロジェクト。

①知財学習プログラムの推進

- ・書籍販売（『表現をめぐる知的財産権について考える本』『身近な事例から学ぶ知的財産 50 の Q&A』）
- ・ゲーム販売（『知財でポン!』）
- ・学習プログラムの実施
（福祉施設職員、学生、教員ほか、障害のある当事者など、対象者にあわせたファシリテーション技術を身に着ける）
- ・プレゼン資料のシリーズ化を図る
（これまで行ってきたプレゼン資料の中身を吟味し、『身近な事例から学ぶ、知的財産 50 の Q&A』のコンテンツを参照しながら、それぞれの課題別資料を作成し、シリーズ化を図る）
- ・新たな学習教材の開発
（子どもや障害のある人が参加しやすい著作権講座にするべく、シチュエーション別の著作権クイズを紙芝居形式で作成する。）

②障害者芸術文化活動普及支援事業等との連携

厚生労働省「障害者芸術文化活動普及支援事業」の学習コンテンツとして、知財学習に関する項目を増やし、障害のある人の芸術文化活動の支援に寄与する。全国で障害者アートに関して活動する中間支援団体や福祉事業所などを対象に知財学習プログラムを活用していただく機会をつくる。

2) Art for Well-being

～障害福祉の現場におけるアート×テクノロジー活用人材の育成プログラム開発と普及～

障害福祉の現場（障害のある人や支援者等）と技術者が文化芸術活動を協働できる公募・伴走支援プログラムの実施と、アート×ケア×テクノロジーの取り組みを日常の活動として持続的に実践しやすくするためのワークショップ開発を行なう。

（文化庁委託事業 「令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業」申請中）

① 障害福祉の現場と技術者の連携推進のための公募と伴走支援

テクノロジーを活用しながら表現活動をしている学生、アーティスト、デザイナー、エンジニアなどを対象に、障害福祉の現場とアート×ケア×テクノロジーの実践に取り組みたい人や団体を日本全国から募集する。応募者のなかから3件を選考のうえ選定した後、各都道府県等の障害福祉の現場およびコーディネーターと協力しながら伴走支援を行なう。

・時期/場所 [1] 公募と伴走支援

5月～2026年1月 3ヵ所（全国から募集を受け付けて選考のうえ選定する）

[2] 発表・発信

2026年1月～2026年2月 3ヵ所（選定した3件が活動している都道府県等）

1ヵ所（京都または奈良）

② 障害福祉の現場でテクノロジーを活用した表現活動に取り組むためのワークショップ開発プログラム

障害のある当事者や支援者等、および障害福祉の現場に関わりたいと考える技術者が、自宅や福祉施設、公共空間などでアート×ケア×テクノロジーの取り組みを実践するために、「現場への導入の手助けとなるワークショップ」をつくることを目的に2日間のハッカソン形式の集中講座を実施する。

・時期/場所 8月～12月 3ヵ所（近畿） 各回30名（5名×6チーム）

③ アート×ケア×テクノロジーの取り組みを深めてひろげるオンライン研究会

上記①②を進めると同時に、育成プログラムの参加者以外の人たちも対象とした研究会を実施する。主な目的は、本事業の取り組みに関心を持って今後関わる人を増やすこと、テクノロジーを活用する上で必要な考え方や課題と対策方法などを学ぶ機会をつくること。具体的には、障害福祉の現場、技術者、コーディネーターほか、自治体、公共文化ホール、企業、教育機関も対象に、「アートと先端テクノロジー」「ケアとウェルビーイング」「デジタルメディアと知財」等をテーマにした研究会を開催する。

・時期/場所 10月～11月 3回（オンライン）

3) ろうきんプロジェクト2025「エイブル・アートSDGsプロジェクト」

日常×アート、地域×障害者をつなげることにより、より生き生きとした日常と、誰一人取り残すことなく安心して暮らせる地域社会の実現に寄与することをめざす。コープこうべとの連携により、神戸市内での店舗を会場候補として検討している。兵庫県内や神戸市内の障害のあるアーティストとの連携も視野に、ひょうご障害者芸術文化活動支援センターにも協力を仰ぐ。

4) 奈良県内でのアートプロジェクトの実施

奈良県内で芸術文化を育てていくことを目的に継続していく。公募プログラムとして定着している企画のため、それぞれの企画をより深めつつ、広く周知することをめざす。

① プライベート美術館

奈良県内の障害のある人のアートを地域へ広め、愛でる文化を育てるため継続しておこなう。

- ・作品募集〆切 7月上旬(予定)
- ・お見合い展示開催日程 7月下旬(予定)
- ・お見合い展示実施場所 奈良市内(予定)
- ・プライベート美術館開催期間 10月18日(土)～11月9日(日)(予定)
- ・プライベート美術館開催場所 近鉄奈良駅周辺の店舗や奈良県内の社寺や町家など80ヶ所を想定。

② ビッグ幡 in 東大寺、みんな芸ピアノデザイン選考

全国から公募で集まる作品を、選考委員やプライベート美術館に参加している店舗の関係者が投票し、選ばれた作品をデザイン化して幡に仕立て、東大寺大仏殿前にて掲揚する。あわせて、みんな芸ピアノの図案となる作品の選考もおこなう。

- ・作品募集〆切 7月上旬(予定)
- ・作品選考会日程 7月下旬(予定)
- ・選考実施場所 奈良市内(予定)

ビッグ幡 in 東大寺

- ・会期 11月1日(土)～9日(日)(予定)
- ・会場 東大寺大仏殿前

みんな芸ピアノ

- ・奈良公園バスターミナル 東棟
会期 9月1日(月)～10月30日(木) 予定
- ・東大寺大仏殿東楽門横
会期 11月1日(土)～9日(日) 予定

③ ビッグ幡 in 薬師寺

前回の「ビッグ幡 in 東大寺」で選ばれた65作品の中からあらためて48作品を選び、薬師寺の規格にあわせた幡を製作し掲揚する。

- ・作品選考日程 4月上旬(予定)
- ・作品選考実施場所 薬師寺 回廊(予定)

- ・会期 2025年9月5日(金)～9月30日(火) (予定)
- ・開催場所 薬師寺境内 回廊

④ ビッグ幡 in 東大寺 原画展

東大寺で掲揚されるビッグ幡の原画作品の素晴らしさ、迫力や味わいなどを訪れる人に感じてもらうために、応募されたすべての作品を「ビッグ幡 in 東大寺」の期間に併せて、奈良公園バスターミナルで展示する。

- ・会期 11月1日(土)～9日(日) (予定)
- ・開催場所 奈良公園バスターミナル 東棟

⑤ 東大寺で大きな「幡」になった！原画作品巡回展

ビッグ幡 in 東大寺のデザインとして採用された64作品を、奈良県主催のイベント会場で巡回展示をする。

▶まほろばあいのわコンサート

- ・開催日 11月1日(土) (予定)
- ・開催場所 橿原文化会館大ホール (予定)

▶みんなきらめき祭 in 文化村

- ・開催日 11月29日(土) 30日(日) (予定)
- ・開催場所 なら歴史芸術文化村 (予定)

⑥ 「みんな」ノベルティ企画、発送業務

主催イベント等のアンケートの回答者への返礼品を、県内障害者就労施設で生産される授産商品より選定し、発送する。

- ・実施期間 12月～2026年1月

5) 可児市文化創造センター「エイブルアート」展企画運営

2025年度は通常通り7月開催を予定している。障害のある人が生活の中で育まれた視点や、人との関係のなかで生まれた作品を紹介する展示を企画している。

- ・会期 7月12日(土)～20日(日)
- ・会場 可児市文化創造センター (ala) 美術ロフト
- ・協力 たんぽぽの家アートセンター-HANA

6) かねでんコラボ・アート 21 特別協力

2025 年度も公募及び入賞作品展の特別協力を依頼されている。今年度は、エイブル・アートムーブメント 30 年に関連し、入賞作品展と連携した展示プロジェクトも計画している。

- ・公募開始 5 月～6 月
- ・入選作品展 2026 年 2 月

7) 展覧会運営

鳥取県、大分県の障害者芸術活動各支援センターからの依頼により、展覧会、フォーラム、ワークショップなどを実施する。運営にあたっては、社会福祉法人わたぼうしの会やエイブル・アート・ジャパンとも連携する。

○あいサポート・アートセンター10 周年記念企画（仮称）

- ・会期 7 月 19 日(土)～8 月 8 日(金)
- ・会場 鳥取県立美術館 県民ギャラリー

○おおいた障がい者芸術文化支援センター企画展 vol.7

- ・会期 11 月 5 日(水)～16 日(日) 12 日間
- ・会場 大分県立美術館 OPAM 1 階 展示室 A

8) Good Job! プロジェクト

1) ニュートラの学校／福祉と伝統工芸をつなぐ人材育成と仕組みづくり

参加者が福祉と伝統工芸をつなぐ企画を立案する「ニュートラの学校実践編」を福井県鯖江市および福井市内にて実施する。また、これまで愛知県名古屋市有松、京都府亀岡市・京都市、そして福井県鯖江市・福井市において開催してきた本取り組みを振り返り、今後の展開を考える機会を設ける。また適宜、これまでに立案された企画のその後を取材し、事業レポートを作成、人材育成事業としての体系化と充実を図る。

(助成:公益財団法人パブリックリソース財団 野村グループみらい助成プログラム基金 ※2024 年度からの 2 年度事業として申請し採択されているが、2024 年度事業内容に基づく継続の審査あり)

教育普及・人材育成

1) 福祉をかえる「アート化」セミナー

今年度の実施については、他事業とのバランスをみながら実施時期や内容を検討する。

調査研究・基盤整理

1) 障害者芸術文化活動普及支援事業（厚生労働省）

障害とアートの相談室

本年度から継続して、各中間支援団体へのより良いバックアップを行えるような事業を展開していく。具体的には、本年度のラウンドテーブルなどで生まれた各地域でのネットワークを元に、それぞれの支援センターで独自の取り組みが生み出せるような土壌づくりを目指していく。また、本年から試行的に実施した障害のあるパフォーマーの公募事業や、視覚障害のある人との鑑賞プログラムに関してもより範囲を広げて実施していきたいと考えている。

（令和7年度障害者芸術文化活動普及支援事業へ申請中）

海外との連携

オーストラリア・フリーマントルで活動する DADAA との交流プロジェクト。今年は DADAA が推薦する知的障害のあるアボリジニアアーティスト Mandy White と Judith Anya Samson による作品展とフォーラム、たんぼぼの家でのアートワークショップを企画している。

- ・会期 4月12日（土）～20日（日）
- ・会場 京都場（京都府）

関連企画

- ・ファーストネイションズ・フォーラム 4月19日を予定／会場同じ
- ・来日アーティストによるアートワークショップ 4月15日／たんぼぼの家にて実施

ケアする人のケアプロジェクト

1) なら介護の日 2025

厚生労働省が、11月11日を「介護の日」と制定したことを受けて、2008年から啓発イベントとして「なら介護の日」を毎秋実施してきた。2024年度は、今後の方向性を探るためホール開催は見送り、啓発活動のみの実施となった。2025年度は試験的取り組みとして、毎年福祉パークで開催されている「福祉機器展」と合体し、「福祉フェア（福祉機器展）・介護の日 in 奈良 2025」として開催を計画している。

- ・会期 11月8日（土）を予定しているようだが、日程変更あり。
- ・会場 県営福祉パーク（磯城郡田原本町多722）
- ・内容 検討中

わたぼうしプロジェクト

1) 50周年記念わたぼうし音楽祭

1976年に奈良で産声を上げ、多くの人たちに支えられ開催してきた「わたぼうし音楽祭」が今年50周年を迎える。スターもいない、アイドルもいない、大きなスポンサーもないこの音楽祭が、半世紀という長きに亘り継続することができたのは正に現代の奇跡といっても過言ではない。こうして歴史的な年を迎えることができるのも、多くのみなさんの応援があったからこそと心から感謝している。

3月1日（土）2日（日）に「作詩の部」の選考会を行い、入選詩8点を決定した。現在は、「作詩・作曲の部」の作品を募集中である。「作詩・作曲の部」の選考会は5月31日（土）6月1日（日）に予定しており、これを経て、音楽祭で発表する8点の入選作品が決定する。

今年もまた、障害のある人たちの歌を通して、ともに生きる地域社会、平和と友好に満ちた国際社会の実現をめざす。

- ・日時 8月3日（日） 開場13時 開演14時 終演17時（予定）
- ・会場 DMG MORI やまと郡山城ホール・大ホール
- ・入場料 前売（一般）2,500円 前売（高校生以下）1,500円 愛のシート2,500円（当日500円増）

2) 50周年記念キャンペーンプロジェクト

音楽祭とは別に、この歴史的な年を「50周年 Year」と位置付け、50周年記念キャンペーンプロジェクトを一年かけて実施することを計画している。具体的な内容は以下の通りだが、詳細については現在協議中である。これらを行うことで、50周年という歴史的な年をみなさんと愛でるとともに、さらなる飛躍の年にしたいと考えている。

50周年記念キャンペーンプロジェクト（案）

- ・50周年記念パーティーの開催
- ・わたぼうしフォーラムの開催
- ・記念誌の出版
- ・50+1周年記念事業の基盤づくり（「アジア太平洋わたぼうし音楽祭」復活に向けて…）
- ・50×50（50周年を記念して、音楽祭までに50回のコンサート、語り、販売会等を行いキャンペーンを展開する）

2) わたぼうしコンサート&語り部

「わたぼうし音楽祭」で生まれた歌は、「わたぼうしコンサート」として旅立ち、日本各地で歌われ、多くの人たちと心を響かせ合っている。コロナの影響で激減したが、昨年度は開催案内を奈良県内の小・中・高校に送り、若干の反応があったので、今年は範囲を大阪、京都、兵庫まで拡大し案内しようと計画している。

▶わたぼうしコンサートの開催予定先

- ・3月16日（日） 大阪／日韓交流会コンサート
- ・3月30日（日） 奈良／佐保川さくら・音楽会
- ・4月6日（日） 滋賀／花桃フェス by 竜王ライオンズクラブ
- ・5月3日（祝） 大阪／中之島まつり
- ・8月3日（日） 奈良／50周年記念わたぼうし音楽祭
- ・8月24日（日） 宮崎／第42回わたぼうし宮崎コンサート
- ・10月5日（日） 長崎／ながさきピース文化祭2025
- ・11月1日（土） 奈良／まほろば あいのわ コンサート

ネットワーク

1) エイブルアート・カンパニー

事務局体制の大きな変更点として、これまで本事業を主担当していたスタッフの退職に伴い、一般財団法人たんぽぽの家のスタッフとして、新規職員の採用が決定している。新規職員は東京勤務を予定しており、数年ぶりに東京を拠点とする窓口スタッフが常勤するため、これまで以上に活発な営業活動などを心掛けていきたい。

また、来年度は大規模スポーツ施設の内装や外装デザインへの作品採用といった大型のプロジェクトも進捗しつつあるため、作家のマネジメントも含め、スムーズな業務進行を心掛けていきたいと考えている。

その他、本年度は秋季に15期の新規アーティストの募集を予定している。

2) アートミーツケア学会

新体制になって2期目がスタートする。現在、新理事13名のなかで代表を決める投票を実施している。前期をふまえ、ひきつづきオンライン会議や書面決議を活用しながら、理事間や学会としての迅速で柔軟な意思決定のあり方を探っていく。年次大会を除く今年度の活動内容については、新代表決定後、計画を立て会員に周知していく。

アートミーツケア学会 2025 年度総会・大会

- ・日時 9月20日(土) 21日(日)
- ・会場 あさかホスピタル(福島県郡山市安積町笹川経坦45)